

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	脳神経外科疾患患者への身体拘束に関する取り組み
研究責任者	田中恵美(8B 副師長)、園田祐子(8B 師長) 伊地俊介(脳外科)
研究機関名	日本赤十字社医療センター 8B病棟
研究目的と意義	<p>脳神経疾患でご入院される方は認知力・判断力が低下するため、ベッドから起き上がった際に、転倒などの事故に繋がる可能性があります。入院された方の安全性確保のため、一時的に身体の動きを抑制することがありますが、その方々へは適切なタイミングで解除することが課題となっています。今回、医師と看護師が共通の基準をもとに身体拘束の解除に向けた評価を行うという取り組みを行いました。</p> <p>この実践報告を行うことにより、医師と看護師が身体拘束の解除にともに取り組むという一方法を示すという意義があります。</p>
研究方法	<p>方法 アセスメント用紙を用いて医師と看護師が身体拘束の状況进行评估し、その結果を協議したうえで今後の対策を決定しました。この取り組みによって解除につながったかどうかを調査しました。</p> <p>期間 2018年1月17日から9月29日の間に8B病棟に入院し、身体拘束を受けられた方が対象となります。</p> <p>診療録から得られた情報は匿名化して取り扱い、個人が特定されることはありません。 また、この調査に参加を希望されない場合にも一切の不利益を被ることはありません。この取り組みへの参加を希望されない方は、下記までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：田中恵美(8B病棟 副師長) TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>